

The Art of Harmonic Revolution

自分自身に革命を起す3つの方法 — すべてを調和し喜びを創造しよう

1. 自然音 空間を快適にする *Harmonic Ambience* — 心と体に自然のリズムを取り戻す
2. 体感音響 体内環境を整える *Harmonic Massage* — 体が喜ぶ細胞レベルのマッサージ
3. 呼吸と声 高次元の響きに共鳴する声 *Voice Prayer* — 見えない力への架け橋

自分を敬い、生命を尊び、自然に感謝

サウンドヒーリング協会 / The Society For Harmonic Science 2001年3月設立

【会長】中村 泰治 Yasuharu Nakamura (昭和大学名誉教授、理学博士)

【理事長】喜田 圭一郎 Keiichiro Kita (株式会社ジョイファンデーション代表取締役)

【理事】Stan Altman (Ph.D.Baruch College New York 元学長)

上野 圭一 Keiichi Ueno (翻訳家、日本ホリスティック医学協会副会長)

長内 博雄 Hiroo Osanai (学校法人武蔵野東学園 武蔵野東教育センター前所長)

河野 渡 Wataru Kono (河野デンタルクリニック院長、歯学博士)

西條 一止 Kazushi Nishijyo (国立大学法人筑波技術大学 名誉教授、医学博士)

【監事】坂本 考司 (税理士法人 アゼット総研代表取締役)

【アドバイザリーブレイン】(五十音順) Advisor

Daniel Akaka Jr. (ハワイ伝統文化継承者)、合田周平(電気通信大学名誉教授 工学博士)、有田秀穂(東邦大学名誉教授 医学博士)、池川明(池川クリニック産婦人科・内科 医学博士)、犬塚雄大((株)アールグラン・コーポレーション代表)、岩本耕太郎(内科医、帝国クリニック院長)、雄谷紀子(知的障害施設仏子園元園長)、大山孜郎(耳鼻咽喉科、医療法人大山医院、医学博士)、奥健夫(工学博士、意識情報研究所)、長田夏哉(田園調布長田整形外科院長)、勝木道夫(勝木グループ代表、医学博士)、神山純一(作曲家、編曲家)、栄形亜樹子(チェンバロ奏者、東京藝術大学講師)、小山一英(一级建築士Kファイルズ代表)小松明(体感音響研究所主宰)、作左部 紀子(獣医師)、信田広晶(心療内科しのだの森ホスピタル理事長)、下雅意巖(元東洋メディアリンクス(株)代表取締役会長)、杉本英夫(桐蔭横浜大学教授、医学博士)、橘秀樹(東京大学名誉教授、工学博士)、高橋全(作曲家、編曲家)、田畠晃(田畠眼科医院院長、工学士)、銅金祐司(東京藝術大学先端表現科非常勤講師)、内藤平(弁護士)、中村鶴城(琵琶奏者)、Ronald L. Peters(MD.MPH Mind Body Medicine Center, AZ)Chikako Hoshino Powers (Academy of SMART Therapy)、松下裕子(ストレスケア研究会代表、医学博士)、間山真美子(和なごむ皮ふ科クリニック院長)、森千鶴(鍼灸師、キネシオロジスト、植物療法士)、矢部多加夫(やべ耳鼻咽喉科院長・医学博士)山口宣夫(元金沢医科大学大学院教授・医学博士)、山本健一(サウンドクリエイター)、湯川れい子(作詞家、音楽評論家)

【賛同者】(五十音順) Advocate

Constantin Ailioiae(MD.PhD)、小川圭一(企画音楽プロデューサー)、大塚めぐみ(ウィーン国立音楽大学教鞭、ピアニスト)、Robert Callery (HB Playwrights Foundation)、川岸宏吉(音楽家)、龍村ゆかり(映画ガイシンフォニープロデューサー)、Amy Tanaka(ハワイ島在住)、所れい(RHI Healing Harp Center代表)、Francois Du Bois(Composer)、中山一郎(理学博士)、日野原重明(医学博士)、水野圭一郎(工学博士)、三井石根(医学博士)、本山博(文学博士)、葉祥明(絵本作家)

2017.1 現在

サウンドヒーリング協会 設立趣旨

音は大きな潜在力を秘めています。古代ギリシアの哲学者たちはこのことを踏まえ、生命に対する畏敬の念と倫理的な責任感を持ち、音楽を選び、音楽を心と体の調和、自然や宇宙との調和、また精神性を高める目的に使っていました。

音は振動として人の心とからだに働きかけ、生理的反応を引き起こします。心に深いやすらぎをもたらし、生きる喜びをも生みだします。音に秘められた力を様々な分野に広め、音で人類の進化と発展に貢献することを目指してサウンドヒーリング協会は設立されました。

目的

私たち人間は地球の様々な生命によって生かされており、人間もその他の生命(動物、植物、微生物など)も地球を構成する大切な一員であると考えられる。このすべての生命を尊重し、音とその体感音響の力を使って、地球上のすべてのものが調和し、世界がより平和になることに貢献することを目的として活動を行う。



『これからの時代に大切なもの』

これらの時代、とは一体どんな時代なのか?それを知る為に、まず過去の事を振り返ってみよう。

そもそも時代は、昔から常に変化してきた。「過去」がどんな時代だったかは、現代に生きている我々は様々な手段で知ることができる。政治、経済、文化、科学、技術、当時の人々の食生活、暮らし、住居、病気、心情、願い…特筆すべき出来事や、大きな変化に関しては、膨大な記録や資料で分かる。その時、どんな変化があったか、人々がどう感じ、どう対応したか、もある程度分かる。とにかく、この数千年の間の人類とその文明、文化の変化もとてつもないものだった。しかしそれは、長い年月をかけたゆっくりした変化だった。最後の大変化は、18、19世紀近代合理主義すなわち物質科学の時代だ。その一方、19世紀には人間精神の新たな認識があった。それまでの「宗教」とは、一線を画した「スピリチュアリズム」で、それを私は「精神科学」と呼びたい。それは妖術や迷信、神話、伝説、空想としか思われていなかった、目に見えない世界だ。粗雑な感性や感覚では感じとれない物質の奥の、より微細な「力」や「働き」。現代的に言えば「エネルギー」の存在と、その活用法だ。それが最先端の原子物理学、量子力学、天体物理学と出会った。AINシュタインの言うところの「全てはエネルギーである」は、実は目に見えない世界への入口のドアだった。それこそが「力の場」「波動」「バイブレーション」として、発生し、伝わり、広がっていく。そして20世紀は誰もがご存知の通り、戦争と科学、技術、商業主義、環境破壊の世紀だった。

さて、それでは21世紀の現代はどんな時代なのか?それは身の回りをみれば、ある程度分かる。20年前、10年前と比べたら、隔世の感がするくらい、社会も人の暮らしも大きく変わった。ケイタイ、スマホ、P.C、A.I(人工知能)と続々現れてきている。

これらの時代、すなわち未来はどうか?このところの急激な変化、とりわけI.T、サイエンステクノロジー、そして世界の情勢を見ると、もうとても1個人の手には余る。本当のところ明日以降のことは、もう分からぬ。自分の身体、自分の人生さえも、、、というのが正直な気持ちだ。だから、今は現実や目先の変化にふり回されないように、冷静に、この世界を観察しつつ、時代の変化を超えた、より大きな観点や、普遍性のことを私は考えていきたいと思う。激変しつつある外界ではなく、普遍的真理の場である見えない世界。物質次元を超えた、あるいは、その奥の、より微細な次元。

「エネルギー」とは、それ自身、動き、変化し、他を変化させる「力」のこと。この世は目には見えない力、すなわちエネルギーで満ちている。大宇宙から人間存在、その核心にある人間の「意識」まで。古代から現代、そして未来まで、貫いているのは「意識」に他ならない。この意識エネルギーの存在を人類がはっきり認識し、正しく活用すること。それこそが、これらの時代の大切な課題だ。サウンドヒーリング協会は、これらの時代の実は最先端にいると私は見ている。



創作絵本作家、画家、詩人
葉祥明



Harmonic Science